大阪府枚方市　市長部局・枚方市教育委員会

【総人口】３９２，０５９人

【自治体 関連URL】https://www.city.hirakata.osaka.jp

【主担当部局】枚方市　子ども未来部　公立保育幼稚園課
（公立幼稚園・公立保育所担当）

【主な関係部局】枚方市教育委員会　学校教育部
教育指導課（公立小学校担当）
教育研修課・児童生徒課・支援教育課
枚方市　子ども未来部　私立保育幼稚園課
（保育所・認定こども園担当）

	幼稚園			保育所		幼保連携型地域裁量型		小学校		
	国立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	国立	公立	私立
施設数	0	6	13	7	41	0	11	0	44	1
園児・児童数		421	3,566	929	5,871		880		18,998	572

事業実施地域・協力園校

【実施地域】

枚方市、香里小学校地域

【協力園校】

幼：公立幼稚園１園、公立保育所２園、私立保育所３園、幼保連携型認定こども園１園

小：公立小学校１校

架け橋期のカリキュラム開発会議

【会議委員人数】

モデル地域　…16名程度（各施設から1名以上参加）

架け橋事務局…10名(市長部局、教育委員会)

【開催数】

モデル地域　…２７回（オンラインやクラス単位で開催している回数は含まない）

架け橋事務局 …２０回程度（担当者の打合せ等は除く）

【委員属性】

モデル地域　…　各施設の管理職もしくは幼保こ小連携担当者等

架け橋事務局…　市長部局(公立保育幼稚園課、私立保育幼稚園課)　教育委員会(児童生徒課、支援教育課、教育研修課、教育指導課)

架け橋期のコーディネーター等

【配置人数】

無

【経歴】

架け橋期のカリキュラム

【開発主体】

「枚方版架け橋コンパス」　…架け橋事務局

「モデル地域版架け橋コンパス」…香里小学校区

「校区版架け橋コンパス」　…各小学校区（43校区）

大阪府枚方市　市長部局・枚方市教育委員会

【3年間の取り組みについて】

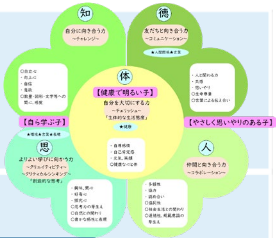
【現状】

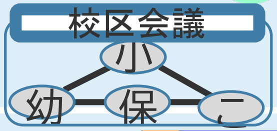
【目的】

幼保小連携の推進により、教育の質の向上が確実に図られるよう、小学校敷地内にある協力園における研究の経過や研修内容の好事例を市内の他園・他校へ臨時配信・共有し、内容を磨き上げていくことで、どの地域においても活用可能なカリキュラムを開発する。

～架け橋期の子どもたちの育ちを伝えよう、広めよう、みんなで支えよう！～

令和４年度	【体制】・カリキュラム開発会議をモデル校区にて実施（月１回） 【生じた問題】・互いの教育活動を知らない 【解決策】・対話の機会をもつ　・互いをリスペクト　・クローバー図（共通の視点）の誕生
令和５年度	【体制】・全公立小学校と幼児教育施設をグルーピング　・連携担当者連絡会を実施（年３回） 【生じた問題】・幼児教育施設と小学校教育に隔たりがある 【解決策】・相互参観　・対話　・枚方版架け橋期のカリキュラムを作成
令和６年度	【体制】・カリキュラム開発会議を各校区で実施　・連携担当者連絡会を実施（年３回） 【生じた問題】・校区で集まる時間の確保が難しい　・教育活動の連続性がない 【解決策】・交流活動の実施を推奨　・カリキュラムを共同編集できる仕組み作り





【事業の成果と今後の課題】

成果

・学びの連続性を意識したカリキュラム作り　・施設類型を越えて、対話ができる体制整備（44校区のグルーピング）
・スタートカリキュラムの見直しによる、先生たちの意識の変容　・生活科等の授業交流による先生の指導力向上

課題

・毎年変わる担当者間のスムーズな引き継ぎ　・私立幼児教育施設と連携している校区への支援
・各校区の自走を架け橋事務局がサポート　・年３回の担当者連絡会を開催し、情報発信、協議題の設定

大阪府枚方市　市長部局・枚方市教育委員会

【架け橋期のカリキュラムについて】

【架け橋期のカリキュラムの開発に当たって、幼保小の関係者で大事にした視点】

子どもを真ん中にした対話を
通しての気付きを
カリキュラムに反映していこう！

架け橋期を
コンテンツベースではなく
コンピテンシーベースで
つなげよう！

【カリキュラム（コンパス）作成のねらい】

各校区の先生同士が対話を通して、オリジナルの校区版カリキュラム（コンパス）を作成し、クローバー図を活用した共通の視点で語り合うことで、子どもの育ちの連続性を確保する。

カリキュラム表 → コンパス

コンパスという名称から、
育てたい資質・能力に向け
て先生たちの工夫が積み重
なっていってほしいな♪

大阪府枚方市　市長部局・枚方市教育委員会

【架け橋期のカリキュラムの作成プロセスと内容・ポイント・活用の仕方】

どんな活動を、どの時期に行っているのか
どんな子どもの姿を大切にしているか

枚方市で育てたい資質・能力

5C(「チャレンジ(粘り強さ)」「コミュニケーション(対話)」「コラボレーション(協働)」「クリティカルシンキング(批判的思考力)」「クリエイティビティ(創造)」)の視点

子どもの育ちを示した
クローバーの視点
5C+1（チェリッシュ）

先生同士の交流や打ち合わせなど

『架け橋コンパス』は、先生たちが対話を積み重ね、３つの柱、5領域、10の姿、枚方市が大切にしている5Cなど大切にしたい視点が入っているクローバー図をもとにして、作成されたよ！

大阪府枚方市　市長部局・枚方市教育委員会

【先生の指導の工夫や子どもの姿の変化】

先生の変容	・声掛けの変化（これしましょう→どうしたい？） ・自園所のカリキュラムや保育を見直すようになった **・何もできない1年生→結構できるぞ1年生（気づき）** ・先生主導ではなく、**子どもが主役の授業・活動に** (モデル)架け橋プログラムの取組が探究的な学びの素地作りに (モデル)出来栄え重視→そこに向かう過程を大切に (モデル)遊びから学ぶ子どもの姿を見取れるようになる ・与える側から引き出す側へ ・子どもに委ねられる
子どもたちの変化	【ドキドキワクワク】 ・慣れ親しんだ環境、道具で思う存分**遊ぶ**ことができる ・**遊び**を通して友だちと関わる ・周りが何をしているのか気になる ・周りを見て学ぶ、見て真似る、見て試す (モデル)「うりこタイム」（スタートカリキュラムの時間）が**学校へ行く楽しみ**の一つに！ ・**遊び**を通して願いや思いが出せる教室へ ・明日したいことをイメージできる

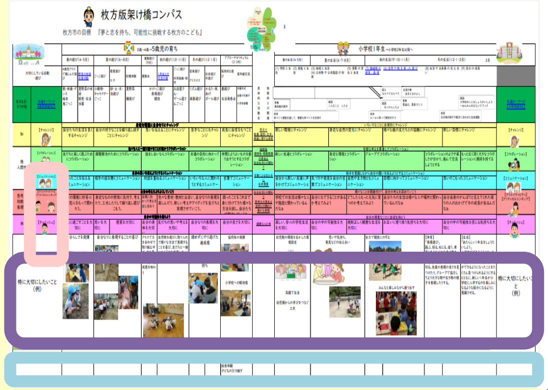
【架け橋期のカリキュラムを見直した点・改善した点】

・スタートカリキュラムの期間を長く設定している。

・スタート期のねらいや過ごし方について、詳細に記す。

・単元配列表ではなく、育てたい資質・能力に応じて、各教科の内容を入れていく。

・学びや育ちの連続性がみえるように工夫する。

・QRコードを記載し、詳細な情報にアクセスできるようにする。

・遊びを取り入れた学びについて記載する。